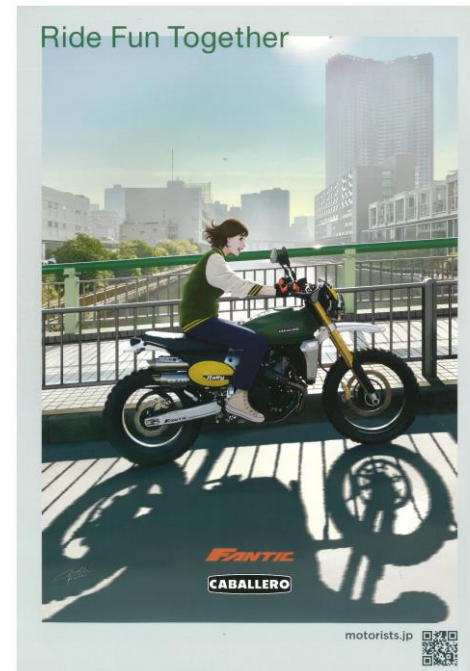


雑誌掲載記事集

2021年7-9月 FANTIC

2. ファン手Iキック販売を開始 (ベアー世田谷)
環境基準に対応させつつ楽しさも向上させる (XEF125紹介)
アーバンなキャブレロ、125で登場 (Scrambler DeLuxe125紹介)
- 3 ちばるのふらっと食わせろー (FlatTrack250旅)
4. Fantastic Fantic (Fanticブランド紹介) #7
社長とバイク (イベントコラム)
5. 高速巡航も林道も軽快!この走りはまさにビッグオフだ!! (Rallyイタリア試乗)
6. FANTIC RALLY500がHard Alpine Tourを走破 (Rally)
7. パッシオーネ溢れる美しきスクランブラースタイル (Fanticイタリア試乗会紹介)
8. ちばるのバイクよもやま話 (Flat Track250旅)
9. ちばるのバイクよもやま話 (FlatTrack250旅)
10. スペシャルサスペンション登場 (Andreani紹介)
11. ちばるのバイクよもやま話 (FlatTrack 250 旅)
12. ダートプラスキャブレロは予想以上にファンタスティックだ (イタリア試乗会)
- 13-15. Fantic Caballero Series その125/500ccを存分に走らせる (イタリア試乗会)
- 16-17. ちばるファンタスティコ! (XEF250紹介)
18. HAVE A BIKE DAY (加藤ノブキコラム)
- 19-20. ワンバーナークッキング (Rally 度)
20. クシタニコーヒーブレイクミーティング (イベントレポート)
- 21-22. ダート走行を満喫できる2台! (XX125 & XEF125試乗)
23. 8耐への道 (E125/トライアル紹介)

- 二輪車新聞 7月9日号
U4 8月号
DIRT SPORTS 7月号
GoRide 9月号
GoRide 9月号
GoRide 9月号
GoRide 9月号
GoRide 9月号
単車倶楽部 7月号
単車倶楽部 7月号
単車倶楽部 8月号
単車倶楽部 9号
単車倶楽部 9号
DIRT SPORTS 7月号
Bikers Station 7月号
GOGGLE 8月号
バイク人 7-8月号
タンデムスタイル 7月号
タンデムスタイル 7月号
U4 8月号
U4 8月号



この期間の当社広告

FANTIC	CABALLERO	フルラインナップ
 500 ***max 1,376,000円***	 フラットトラック500 ***max 1,366,000円***	 スクランブラー500 ***max 1,376,000円***
 スクランブラー250 ***max 916,000円***	 フラットトラック125 ***max 854,000円***	 スクランブラー125 ***max 916,000円***
 フラットトラック250 ***max 854,000円***	 XEF125 ***max 913,000円***	 XEF250 ***max 996,000円***
 XEF125 ***max 913,000円***	 XEF250 ***max 996,000円***	 XEF250 ***max 996,000円***

キャブレロ
スクランブラーが
TBS 日曜夜9時
連続ドラマ「ドラゴン桜」に出演中!

MOTORISTS
RIDE FUN TOGETHER SINCE 2020

販売店や全国にCS+有り! 詳細は Webサイトにて
※販売店様へお問い合わせください TEL: 03-5777-1138
モータリスト・ファンタジー

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社

〒105-0004 東京都港区新橋5-1-1
川口ビル 電話03(429)1311
振替口座 00190-7-3825 郵便番号
〒105-0004 東京都港区新橋5-1-1

大阪支社 〒530-0001 大阪市北区南船場
1-11-1 大阪駅前南側ビル4階(06)43413997

週刊・毎週金曜日発行

購読料 1部 330円(税込)
1年 15,400円(税込)

www.nirin.co.jp

ファンティック
販売を開始
BEAR
SEITAGAYA
BEAR SEITAGAYAが5月から、ファンティックの販売を開始した。キャバレロスクランブラー250の試乗車を用意され、足つき性や街中での走行性能などを確認できる。教習所での車間展示やスクーターでのオフロード遊びの提案などの各種イベントにも注力する同店では、店頭以外でも車両購入やメンテナンスの相談などに積極的に対応する。

◆BEAR SEITAGAYA
東京都世田谷区世田谷2-10-11
TEL 03-3429-8181
▽営業時間10時～20時
定休月曜日

ヤングマシン
(内外出版社)
21年8月号



500
Scrambler 500/250/125
●価格：116万6000円/91万円/85万8000円



Scrambler 500/125 deluxe ●価格：127万6000円/90万2000円
Rally 500 ●価格：91万3000円
●色：赤×白×青、黄×黒



●価格：99万円/85万8000円/90万2000円
●色：赤×白×青、黄×黒
XEF250 XMF125

FANTIC Caballero series

125から500まで選べる伊達トラッカー

125にまでドライバーポンチヒートプロテクターやアルミ削り出しのトップブリッジ、LEDヘッドライト、シート高さ820mm 12.2 ※諸元はScrambler500

125にまでドライバーポンチヒートプロテクターやアルミ削り出しのトップブリッジ、LEDヘッドライト、シート高さ820mm 12.2 ※諸元はScrambler500



Flat Track 500/250/125
●価格：116万6000円/91万円/85万8000円
●色：ツヤ消し黒、銀(250は黒のみ)

XE250 Trail/125/XMF125

本格オフローダーは新エンジン搭載
長年のレース技術を生かした、公道OKのトレール車。'21では、可変バルブなどでクリーンさと性能を両立した新設計エンジンを搭載し、スリッパクラッチも備えた。同時に車名をXE2と、125と250が販売。新たにモーターのXMF125も国内入荷される。



CABALLERO SCRAMBLER125 DELUXE
●価格/税別日：90万2000円/94万円

FANTIC CABALLERO125

環境基準に対応させつつ楽しさも向上させる!

キャバレロ125が
ユーロ5に適合して
環境基準に
対応させつつ
楽しさも向上
させる!

キャバレロ125は、環境基準に適合させるべく、新設計のエンジンと、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。また、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。



CABALLERO SCRAMBLER125
●価格/税別日：88万6000円/92万円

キャバレロ125は、環境基準に適合させるべく、新設計のエンジンと、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。また、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。

キャバレロ125は、環境基準に適合させるべく、新設計のエンジンと、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。また、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。



CABALLERO FLATTRACK125
●価格/税別日：95万8000円/99万円

キャバレロ125は、環境基準に適合させるべく、新設計のエンジンと、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。また、最新のスクランブラーデザインを採用し、見た目もスタイリッシュなデザインを実現している。

U4 (クレタパブリッシング)
21年8月号

DIRT SPORTS (造形社)
21年7月号

MACHINE 05 アーバンなキャバレロ、125で登場

FANTIC
CABALLERO SCRAMBLER125 Deluxe
¥902,000 (税込)



ドラマ「ドラゴン桜」に使われたことでも話題のファンティック・スクランブラーに、125ccデラックスモデルが仲間入り。500デラックス同様にタンクカバーをディープ・グレーとし、パーバッド、シート、グリップをブラウンに、その他にも専用色を取り入れ、アーバンな仕上がりになっています。

●いつも頼とかザリガニとか、るくでもない物しか食べてないので、連載始まって以来のレストランです。よこれがあったらなんかよく分からないので、とりあえずおすめの肉と餃子を食べておきました。



次はアメリカなメキシコ料理



全米が湧いたトライアルショー!

●興奮して、しゃべり出してきたんですけど、小川選手と柴田選手の演技がすごすぎて兵隊さんやご家族も大盛り上がり! 音楽の強とかもうまったく関係なし!



観客100%アメリカ人の中で、ライアルバイクショー行なわれ、日本のトッププロが繰り出す技にアメリカ人もビックリです! 私もせっかくなので、ここで食べられたいハンバーガーを食べに基地内のダイナーに向かい、なんと半100%のハンバーガーを焼き加減レアで注文! 半生のお肉が超美味しかった。こんな食ってりや身体が大きくなるわだ! よ! こちう様でした。



初めてのルートビアは湿布の味



続いてフードコートへ



●基地の中はもちろんアメリカ! フードコートにはサブウェイ、ビザハット、31アイス、ダンキンドーナツなどアメリカンフードだらけ。日本でも一時話題になったタコベルでタコスとブリトーを食べましょう。フードコートを利用するとソーダ類は飲み放題! ルートビアって意味不明な物を初めて飲んだら、湿布のサロパスの味がして吐き戻しそうになり、タコスとブリトーは一気食いしてやりましたよ。

アメリカ合衆国独立記念に乱入したちばるが、ここぞとばかりに食べまくる!

最後はダイナーへ

満腹になったから帰ります



ちばるの
ふらっと
食わせる

横田基地独立記念祭で
食べまくる!

Chiparu
キャバレロ・フラットトラック250で横田基地独立記念祭に行ってきたちばるちゃん。当日は小川友幸選手と柴田曉選手のトライアルショーも開催され大盛り上がりでした。オフィシャルブログ「ちばる☆日和2」ameblo.jp/chiparu125

米軍横田基地から、「ちばるさん、アメリカ独立記念日の記念祭でトライアルバイクショーをやりたいので、どなたかご紹介していただけませんか」と入電。なんでそんな重要なことをただの食いしん坊にしてるんだ? と思いつつ、世界最強の軍隊で食わせるー!

写真・文: ちばる



肉で腹ごしらえ



ガッチ先生の
トライアル稽古



●うわ! この連載始まって以来のバイク雑誌っぽい写真! そしてまさかの初ゲストが全日本トライアル選手権で8連覇中のチャンピオン「ガッチ小川選手」と、いきなり超大物が登場! なんかよく分からない状況でHRC製ワークスマシンでスタンディングの練習をする私。



FANTIC

FANTIC日本代理店「モータリスト合同会社」の
野口代表自らが、FANTICへの想いをつづる!

第7話 ファンティック・ レーシングに 注目を!

ファンティックという会社は創業以来、キバレロ・シリーズというスクランブラーで一般のお客さまにお楽しみいただきたながら、さまざまな形で競技の場にもコミットしてきました。中でもファンティックの名を高めたのはトラアル・ビーン・ファンティックの間ではよく知られています。が、トラアルでファンティックの名前を知ったという方も少なからずいらっしゃると思います。

ファンティックがトラアル全盛を誇ったのは1980年代、82年に本格的なトラアルモデルを世に出し、いきなり世界選手権トラアルで3位に入賞します。85年には初めてモノシヨックのリヤサスペン

ションを備えたモデルをデビューさせます。日本メーカーも続々とモノシヨックに移行していたタイミングでしたが、ファンティックが抜けていたのは、フロントにディスクブレーキを採用したこのモデルで、ファンティックは初の世界チャンピオンを獲得。ライダーはティエロー・ミシヨでした。ミシヨはさらに86年、88年とチャンピオンを獲得。トラアルの世界をリードするブランドとして、ファンティックの名を確たるものとしたのです。この時代のチャンピオン・レトリカといったモデルはモータリスト・ファクトリーにも展示されていますから、ぜひご覧になってください。もちろん実働モデルで、先日もスタッフが乗ってトラアルついでに参加してきたばかり。遊びで乗る方には、今も充分以上の戦闘力を備えているのですから、いかに当時としては進んだモデルだったかが分かります。



トラアルの成功で高さを高めたファンティックが初めてファクトリー・チームを結成し、モトクロスレースへのコミットメントは絶えることなく、今もレースモデルに対する思い入れは並々ならないものがある

GoRide
(内外出版)
21年9月号

社長 とバイク

by BTT

What's
BTT?

Vol.
8

経営者・個人事業主向けのビジネス交流会を兼ねたツーリングチームです。「バイクを楽しめば楽しむほどビジネスが発展したら最高だなあ・・・」そんな夢を実現するべく日々がんばる、BTTのメンバーをご紹介します。

2021 ASAMA GP6を 見学してきました!

BTTツーリングで、アサマレースウェイで開催された2021 ASAMA GP6を見学してきました。開催案内のページに「鹿や猪といった野生動物の飛び出しにも注意してください。」と書いてあってドキドキしましたが、現地に着くとなるほどと納得する大自然でした。バイクってこんな場所も走れるんですね!というレベルのど素人目線で、見学レポートを書いてみました。



いよいよレーススタート



土埃と爆音でど迫力のレース



エグい起伏も
巨大な水溜りも
誰も躊躇せずに
突っ込んでいく...
すごい...



ちびっこライダーもたくさん!



雄大な浅間山の麓、浅間火山レース跡地

“ママチャリ乗り”の動画

ブース出店していたモータリスト合同会社さんの展示車両に跨がろうとして股関節を痛めるBTTメンバー・・・見かねた野口社長が、車高の高いバイクに跨る必殺技“ママチャリ乗り”を伝授してくれました。眼から鱗でしたので動画をブログにアップしておきました! 視聴はコチラから→



いつも優しい野口社長

BTT新規メンバー募集中!



<https://www.forbusiness.fun>

高速巡航も林道も軽快!

FANTIC CABALLERO RALLY500

価格：127万6000円



主要諸元 ■全長×全幅×全高(mm)：2187×878×1183 シート高：860mm 車両重量：150kg 排気量：449cc 最高出力：40ps/7500rpm 最大トルク：4.4kgf/6000rpm タイヤ前：110/80-19 タイヤ後：140/80-17 カラー：グリーン、サンド



↑試乗会場には創業50周年カラーや、ブラウンシート、デラックスなども用意。センスのいいカラーリングもキャバレロの特徴だ。

前 思いを引き続き、ヨーロッパの新たな環境規制EUREO5に適合したファンティック・キャバレロのニューモデルインプレッションをお届けしよう。今回試乗したラリー500は、インプレッションは他のキャバレロシリーズと共通で、大型化されたキャタライザーとそれを広げて変更したエンジンマップ、強化されたサイドスタンド・マウント、ナンバープレートホルダーへのスラッシュガードの装備、ドラムハンドルスウィッチ、新素材を採用したシートといった変更点も同じだ。

だが、前後サスストロークは150mmから200mmへと延長され、セッティング調整機能も装備し、スイッチアームはアルミ製となっている。その結果、シート高は820mmから860mmへと高くなって、シート・ハンドル・ステップの位置バランスがよく、や硬めになった新シートもあって、ロングライドでの快適性はむしろ向上しているのだ。また、延長されたサスストロークのおかげで、荒れた田舎道を整然とした舗装路のように走破でき、タイヤターンでは路面の乱れに影響されることがなく、ニールなハンドリングを楽しむことで、フロントフォーク右側でスプリングブローで左側でリハウンドタビングリヤは制御を含めた、フルアシスタンスで調整でき、路面からの情報をライダーに明確にフィードバックする。このサスで低回転からトルクが太く、高回転までレスポンスのいいエンジンがベストマッチし、右足のひとひねりで自在なマンコントロールを楽

しませられるのだ。高速道路では軽い車体もあって130km/h巡航も充分可能で、最高速は150km/hをマーク。最高出力41psの4500cc排気量エンジンとしては、充分以上のポテンシャルといえるだろう。燃費は20km/lを切るくらいで、タンクとシートの完成度は、キャバレロシリーズ随一だろう。ラリー500のしっかりとした車体は、ワインディングではスパーモードではビッグオフのような軽快かつパワフルな走りを見せてくれる。さまざまな路面で幅広く遊ぶことができるので、キャバレロシリーズで人気モデルとなっているのも納得だ。こうしたラリー500の取りまわしは、比較的タイトな場所が多いと聞くと、日本の林道でも扱いやすさとして感ぜられるはず。すでにモーターズにより日本へ導入されているので、ぜひ試乗してほしい。高速道路から林道まで快適な走りを楽しむビッグオフであることが、すぐに分かるはずだ。

この走りはまさにビッグオフだ!!



ファンティックの本拠地イタリアに欧州各国のジャーナリストを招いて行った試乗レポートの第2弾。ファンティック・キャバレロシリーズでオフロード性能を一段高めた新型「ラリー500」を、ジャーナリスト、クラウス・ネネヴィッツのレポートで紹介しよう。

写真文：モータリスト
☎03-3731-2388 <https://motorists.jp/>



※しなやかさと高剛性を両立したフレームが、舗装路での軽快な走りに貢献。ラリー500は、オンもオフも高次元の走りを楽しめる。

GoRide
(内外出版)
21年9月号

FANTIC RALLY500が



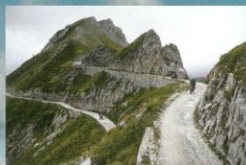
↑アルプス越えのダートを含む1000kmを42時間で走破するこのイベントには、夜間走行もある。そんな時にラリー500の明るいヘッドライトが大いに助けてくれた。



↑途中10か所ほどの休憩所が用意され、また可能な場所では横になって休むこともできる。しかし、その様子は異様ともいえ、事情を理解してもらうまでは二度見されることもしばしばだった。



↑ロチェッタという街の教会の広場で、朝6時にバンク修理。しかし、地元の農夫が私のために、コンプレッサーを動かしてくれた。過ぎてしまえばアゲンダもいわずアセントに



↑最後のステージは非常に険しいアッシュエッタの尾根道。晴れていればアルプスの360°パノラマが広がることもあり、日曜日ともなると多くの観光客でにぎわうそうだ。

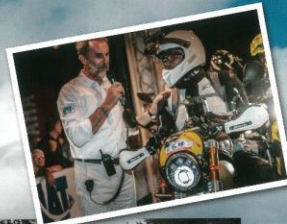


できない路面が狭く、だがこんな路面にしてラリー500の軽い車体が生き生きと、↑感度大急左をゆっくりに乗り越える。速で頂上をめざしていく。採石場を経由して、ヌキーゲレンゲ(ヌキーゲ)に入り、岩の土にある最後の終極所へと向か。ついで、雨でぬかるんだサントマルの路面で踊るよじ。暴れるラリー500を走らせていく。ゴールのピエモンテで与えられる健康的ですがおいしい朝食。ピエモンテをめぐって

42時間のライディングは格闘ではなく、相棒との旅でもあったのかも知れない。ライダーの身体と心マシ、自然料理。さまざまな活用。悪名高いエンターテインメントが、敵してくれた。終わる。それはラリー500は本当に最高の相棒だった。そして、人生ははじまる。すばらしいものか。

イタリアン・アルプス1000kmを42時間で縦走! HARD ALPINE TOURを走破!!

前ページで新型ファンティック・キャパレロラリー500を試乗したクラウス・ネネヴィッツ氏が、峻険なイタリアン・アルプス1000kmを42時間で走破するHAT(HARD ALPINE TOUR)に同車で参戦。その奮闘の様子をレポートしてくれた。



レポート:クラウス・ネネヴィッツ www.klaus-nennewitz.com
協力が:モータリスト 03-3731-2388 <https://motorists.jp/>



↑ノルクフェルム(車両保管所)には、新旧さまざまなマシンが並ぶ。最少重量150kgの参加規程があるのでKTM890アドベンチャー R、アフリカツインアドベンチャースポーツ、BMW R1200GSアドベンチャーといったビッグマシンが多数エントリーしているのだ。

標 高2000mを超えるイタリアの高山を巡り、オフを含めた総走行距離1000kmを42時間で走破するHAT(HARD ALPINE TOUR)。2009年から12名の参加者で始まったこのイベントは、今年15カ国450人が参加するヨーロッパ最大のアドベンチャーイベントにまで発展したのだ。このイベントに参加できるのは、いわゆるエンターテインメントではなく、最少重量50kgと規定され、ラリーマンやビッグアドベンチャーが不利にならないようになっているのが特徴だ。最新のBMW R1200GSのとなり、古いHPNが並んでいる。リと、エントリーマシンも新旧さまざま。そんなこともあり、私は懐かしさのあるスタイル。最新のテクニロジー搭載したファンティック・キャパレロラリー500に参加してみた。このイベントをより楽しめるだろうと思ったのだ。

スタート地点はイタリアのシニャイドリット。地サンレモ。ここから細い海岸線の道を、おびただしい数のバイクが走っていくのだ。しかも夜間。1000kmのルートの多くは険しいオフロード。だからGSやラリーマシンが多く参加しているのだが、そんなビッグアドベンチャーについていくことができたのは、車重150kgと軽量コンパクトなラリー500だからだと未だに思っている。また、ラリー500のLEDヘッドライトは驚くほど明るく、視界が欠けて気が散ることもない。暗闇の中の走行を大いに助けてくれた。

最初の休憩ポイントであるレッツォ村に到着したのは、曜日の早朝

だった。最初の夜はアドレナリンの分泌が効いていて時間はあっという間に過ぎ、身体と精神のバランスも保たれていた。ラリー500と私は永遠に飲み込まれてしまうような深淵を走りながら、ゆっくと一体化していく。また、た。そう、あたかもケンタウロへなるかのまじりに、私自身がラリー500に溶け込んでいくのだ。

15分の効率的な睡眠時間。あとも1時間の休憩。身体を本道に戻り、レッツォ村まで戻った。続くステージは標高2000mを超える35kmものロングダートだ。ラリー500のトルクフルな低回転域を使いながら、マシンの確実に進ませ、いく、時を越えて市街地に現れながら、アフリカツインの巻き込みながら、アフリカツインのチェックポイント。到着。その後のルートには、生い茂った森のシングルトラックもあり、GPSのリンクが途切れたり、なかなかにハードな設定。かなり疲れた感じが、なんと、がメレの街に到着し、宿に泊まった。

この宿泊は私の人生でも、とも意味のある投資だった。いえるだろう。翌朝4時にスタートし、5時には濡露でマテのヨルバ時を越えていたのだが、宿を遺はなかった。ライダーたちは体力的に非常に厳しい時を過ごしている。どうかが分かる。からだ。しかし、目を回すにつれ、タイヤに釘を刺さってしまった。まさに悪夢だ。

予期しない休憩を強いられ、ここからのルートは全行程中、最も難しい上り坂が待っている。険しいマテ、穴が点在し、止まる。沈んでしま。握らずに登進

GoRide
(内外出版)
21年9月号

単車倶楽部
(造形社)
21-7月号

FANTIC Caballero Scrambler Deluxe

¥1,240,000(税込)

*Scrambler、Flat Trackにはそれぞれ125/250/500ccモデルがラインナップ。Scrambler Deluxeは125/500cc、500Rallyは500ccのみのキャバレロプレミアムモデルとなる。

問：モータリスト合同会社
TEL：03-3731-2388
<https://caballero.jp/>

温故知新

キャバレロとは
オートバイに乗ることへの情熱だ



白髪交じりのベテラン、黄金時代のファンティック・エンデューロライダーから、免許取りたての若い世代にまで幅広いブランドイングで成功を収めているFANTIC。改めてその魅力を欧州のジャーナリスト“クラウス・ネネヴィッツ”が伝えてくれた

TEXT: クラウス・ネネヴィッツ 写真提供: モータリスト合同会社 <https://caballero.jp/>

会場に展示されていた、初代キャバレロ、50周年モデルのボディカラーとストライプは、このモデルのオマージュなのだ



上) 会場にはすべてのキャバレロ500シリーズを用意。日本では限定数の販売だったアーバナーシリーズも現地ではまだ手に入る

下) イベントレースで使われるフラットトラック。素直なサウンドリングでタード性能の高さを発揮した



EURO-5に合わせて大型化されたキャタリテックコンバーター。位置は変わらないが、はっきりわかるほどに大型化された

新しいハンドルバースイッチ。ヘッドライト切り替えとウィンカーが集中タイプになり、使い勝手が改善されている

右側に新設されたのはABSキャンセルスイッチ。走行中の操作もしやすい形状に改められている



新設されたスプラッシュガード。これまではオプションとしての用意があったが、全車共通品を採用。背中への泥跳ねが大幅に改善されている

強化されたサイドスタンドマウントブラケット。曲がりやすいサイドスタンドは欧州車に共通する弱点だが、ファンティックはここを強化してアップデートした

このエンジンからあふれ出るトルクはあらゆるシーンで活躍し、軽量なこの150kgのマシンを気持ちよく引っぱり、細く曲がりくねった北

ファンタステックな エンジン特性

オークはスプリットタイプだが、右側に用意されたスプリングが車体を支えながら、左側に用意されたタンパーがマシンを気持ちよくいなし、走らせていく。リアショックにはリザーバータンクが併えられ、さらに豊かなアンブッシュ機構がライダーの好みに応じた調整を受け入れられるのだ

パッションが溢れる美しきスクランブラースタイル

キャバレロ セレクトスタイル

2021年現在、キャバレロ500は5種類の異なるスタイルのスクランブラー、アニバーサリー、テラックス、フラットトラック、そしてラリーの入手が可能である。初めての3種類の違いは、色やグリップ、ラック、フラットトラックはリアタイヤが19インチ、他のモデルは17インチ、そしてラリーは200mmのロング・ストロークを誇るシャスタラル、サベンションスクランブラーは150mmにアルミウムのリアインクアームが装着されているのが特徴だ。

ユーロ5に適合させた新しいエンジンには、ほとんど振動を感じることもないほどよく調教され、低回転域からクラッチをつなぎ、スロットルに力を込めていくと、予想以上になつたほどに豊かなトルクがあらわれ出し、すばらしいパワートン、サウンドがマフラーから聞こえてくるのだ、ワオ!

ダートの走破性 ラリーorスクランブラー

トスカリーナに数多く残された砂利道であっても、キャバレロなら全く問題にせず走破していくことが可能だ。だが、地形がさらに厳しく、サスペンションにかかる負荷がより激しくなってきたら、ラリーを選ぶのがベストだろう。フロントフ

部トスカリーナの田舎道を生き生きと走らせる。低回新域からのトルクはマシンの気持ちよさを特徴づける役割をこなし、パワー・デリバリーはスロットルに依りて心地よくライダーを刺激していく。適度にウェイトの乗ったクラックマがエンジンブレーキを大きくさせず、だから安心してスロットルをオンオフさせ、マシンコントロールがさらに楽しくなっていく印象だ。スロットル・レスポンスは手の打ちどころがなく、そのパワー・カーブには知覚可能な落ち込みは一切ない。スロットルを大きく開け放せば、マフラーが素晴らしい音を奏で、共鳴するシンフォニーのよな快感が襲い来るのである。

ファンティック・キャバレロ500ならではの多様な演出は、しばしばイタリア語の「パッショネ」(情熱)という言葉を感じさせる。オートバイに乗ることへの情熱は途切れることなく語り継がれ、そしてますます我々をとりこにさせるのだ!

※日本国内ではCABALLERO Rally、CABALLERO Scrambler、CABALLERO FlatTrackの4タイプで展開している

相模湖バイク

多趣味の“ちばる”がお送りします

よもやまパナシ♡

バイクにも水上バイクにも乗り、旧車やガンブラ、ダムも大好きというナゾ多き美女タレントちばるちゃん。セクシーだけどもおもしろい、そんな魅力いっぱいの彼女のバイクがらみの連載です!

PHOTO&TEXT: ちばる



ちばる

愛車はヤマハ セロー-250、カワサキ GPZ900R、FANTIC フラットトラック250、欧州No.1ヘルメットメーカーNOLAN社アジア人初のアンバサダー、世界No.1チェーンブランドD.I.Dチェーンアンバサダー。趣味は犬の世話と長風呂

オフィシャルブログ▶ちばるの日記2
<http://ameblo.jp/chiparu25>
Instagram▶@chiparu125 Twitter▶@Chiparu125



危険な香りしかしない、免許不要のモーターボート!



とにかく不安定で揺れが超怖い。最大3人乗りらしく大丈夫なのかこれ? 水深32mだから沈没したらたぶん死ぬでしょう。いや死ぬ



思った以上に速くて、正直これが無免許で乗れるのに感動。子供だけで乗ったのがばれたら、危ないってきつと観に叱られるやつたなこれは



年季の入りにすぎているソフトボールを投げて、3球で3基の積み木を倒してパーフェクトを達成して、景品の白いジャンパーがもらえるという地獄



射的屋のおばさんに、手取り足取り熱のこもった射撃の指導を受け、おねえさんはかまえ方は上手ね、と褒めてもらいましたが、結果はアヒル1羽とご覧の通りです



相模湖で地獄のモーターボートに乗る

神奈川県には相模湖という湖があり、この湖は神奈川県民の水がめとなっています。相模湖は昔は観光地だったようで、湖畔を走るとぶれたレストランや放置された廃墟が多くあり、この日も湖畔の相模湖公園の駐車場の前を車やバイクが素通りして行き、誰も寄り付きません。

駐車場にバイクを停めて相模湖公園に入ると、いきなりゲームセンターがあります。なんでも湖畔にゲームセンターがあるのが、不思議に思い入ってみると、射的に卓球にマートボール、いやいやちよと待ってよ! 当時もの、白黒のインバーダーゲームに日本最古のピンボールマシンまで置いてある。こだけ昭和40年代にタイムワープしたようで凄いなここ。

ゲームセンターから出ると目の前に貸しボート屋があり、おじさんが近づいてきて「ボートどう? スワン乗らぬい? と声をかけてきます。値段を見ると2千円。高つけ! 乗る訳ないつしょ」と思った時に免許不要で「モーターボート」と書かれた看板を発見。30分3千円とちょっと高いが、おじさんに「ほんとに免許要らないの?」と聞く目を輝かせて「大丈夫とのこと。」

30分でボートで、湖の遠く向こうに見える青い橋まで行って帰って来られるらしい。しかし、どう見ても1km以上先に橋が見える。心配性なので「転覆とかしても大丈夫ですか?」と聞く、「見てるから、転覆したら迎えに行くから大丈夫!」とのことなので乗りましよ。

お金を払い乗り場へ案内するおじさん。死にたくないのて救

人気もまばらな相模湖。観光業も衰退し荒れ果てた地で見たいものは!? 45年前の日本の観光の生の姿が残っている、そんな相模湖公園に潜入します



県立相模湖公園
神奈川県相模原市緑区与瀬317-1
<https://sagamiko.info/sagamiko-park>
射的やスマートボールのあるゲームセンターは土日祝祭日のみ営業

命綱衣を2着勝手に取り乗船。簡単な運転操作の説明があり、青い橋に向けて出発です。低速で進みながら、ひどい揺れ。水上バイクに乗る私でもこれは怖い! アクセルを徐々に開けアークセル全開。意外と速い!

「何ほど進んだあたりで振り返るとボート屋はもう見えない、怖い揺れるし、こんな所で沈没したら死ぬ、と不安になります。その時ハンドルの奥に何やら文字が書いてあるのに気づきました。なにに「トナルがあらたら電話して下さいだ」と。ボート屋のおじさんはずき見るのが大丈夫。つと言ったじゃないのよ、あのじじい! 見せる気最初からないし! 帰ったら顔面にミサイルキックをお見舞いしてやるつもり! 必死に押し戻ろうにも向かい風が強くて、揺れがひどくて、転覆するんじゃないかとピンヒンきそう。笑うしかない。あつという間の30分だした。サイ。久しぶりも昭和40年代のまんま。久しぶりにもエキサイティングに楽しめました。

何もかもが昭和40年代で止まっている町



貸しボート屋もゲームセンターになっており、1975年製のモグラ叩きの元祖であるモグラ退治がありました。ここも昭和40年代で止まっています



口コミでいろいろと書かれてるお店でお食事。スパゲティミートソースとクリームソーダで1,630円。麺が給食のソフト麺の様でした。こーゆーのはこれいいのです



調整のレンジがかなり大きく、体重、乗り方の好みはもちろんだ、ロードスポーツ走行からオフロード向けなど、走行シチュエーションに特化したセッティングも可能だ。



組み込みにはサスペンションのオーバーホールが必要になる。取り付け相談は、キャバレロ取扱い各店、またはモータリスト同会社まで

105/F01E MISANO EVO
105/F01EH MISANO EVO (stroke +18mm)

税込価格：¥88,500(税込/取り付け工賃別)

■問：モータリスト同会社 ☎03-3731-2388

FANTIC CABALLERO

スペシャルサスペンション登場!

-Andreani MISANO EVO-

ドラマ「ドラゴン桜2」のド派手なライディングシーンで話題沸騰のキャバレロシリーズにフロントサスペンションパーツが登場! イタリア発、アンドレアニ「ミサノ・エボ・カートリッジ」とはいったいどんなサスペンションなのか? この足回りがあればドラマのような階段登りだっても夢じゃない?

写真・小川伸晃 文・谷田野 洋輝

幅広い調整レンジに
走行性能を大きく底上げ!



キャバレロのFサスをフルアジャスタブル化

アンドレアニ「ミサノ・エボ・カートリッジ」は、キャバレロ・スクランブラー&フラットトラック(125/250/500)用のフロントフォークインナー・カートリッジのインナー&アウトチューブを利用して、内部構造をこっそり取り替えて、ハイクレート化するチューニングパーツだ。そのため価格が約9万円とフロントフォーク全交換に比べてコストが随分抑えられるにも

POINT 3 +18mmストロークアップ仕様もある!

ノーマルのキャバレロシリーズのフロントフォークはストローク量150mmと、アドベンチャーモデルの500ラリー(ストローク量:200mm)に比べればロードセクションよりのキャラ。「ミサノ・エボ・カートリッジ」には、ノーマルストロークと同じ150mmタイプに加えて、ストロークを18mm伸ばし、168mm化するタイプもラインナップ。



キャバレロでもっとオフロード走行を楽しみたいというライダーには、プラス18mmモデルがおすすめだ。

POINT 2 伸/圧減衰調整機構追加

サスペンションの動きの収束具合を決める減衰調整機構(ダンピング)。プリロードでのサスペンションの方向性が決まったら、タイヤの跳ね具合をみながら伸び側、圧側とセッティングしていきたい。特に重要となる伸び側は、プリロードと合わせて調整すると動きが劇的に変化するのが体感できた。



伸び側(REB)は左で、圧側(COMP)は右。調整幅は3回転で六角レンチ(3mm)で調整。プリロードが決まったら、伸び側→圧側と調整していく。

POINT 1 プリロード調整機構追加

フロントフォークに調整機構を持っていないキャバレロ・スクランブラー&フラットトラックシリーズ。「ミサノ・エボ・カートリッジ」を組み込めば、まずプリロード(荷重)調整機構が得られる。ロードスポーツ寄りのセッティングで硬めにしたり、オフロード用に軟めにするなど、サスペンションのキャラの大きく変更することが可能だ。



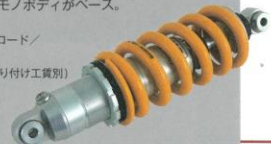
17mmのソケットツールで11回転の範囲で調整可能。まずはプリロードで大きなキャレクタを決定する。

かわらず、多彩な調整機能が得られるのが最大の特色となっている。元来ロードで本気で遊んで、ロードセクションも楽しいキャバレロシリーズだが、この「ミサノ・エボ・カートリッジ」を組み込めば、ライダーの好みでさらに走りのステイジに合わせたキャラクターが作り込めるというワケ。嬉しいのは、この「ミサノ・エボ・カートリッジ」には2モジュールに8mmの差が付けられたストローク量がランナップ。ロングストローク化で根本的なオフロード性能アップさせることも可能だ。なお、この「ミサノ・エボ・カー」トリッジの導入にあたってはスペインリストによる、日本国内向けのセッティングを実施されており、販売にあたっては、おすすめの、標準設定で出荷される。

リヤショックも登場!

アンドレアニとファンティックが共同開発したオーリンスブランドのリヤショックユニットも登場。フロントサスペンションがキマったら、リヤも当然換えたいくなるもの。オーリンスならではの幅広い調整機構で様々なライディング要件に対応可能だ。46mmピストンのオーリンス46DRシリーズ・モノボティがベース。

調整機構：車高/プリロード/リバウンドダンピング
¥99,000(税込/取り付け工賃別)



バイク 多趣味の“ちばる”が お送りします

よもやまパナシ♡

バイクにも水上バイクにも乗り、旧車やダム、ガンブラも大好きというナリ
多き美女タレントちばるちゃん。セクシーだけどももしろい、そんな魅力い
っぱいの彼女のバイクがらみの連載です!

PHOTO&TEXT: ちばる

ちばる 愛車はヤマハ セロー250、カワサキ GPZ900R、FANTIC フラットトラック250。
欧州No.1ヘルメットメーカーNOLAN社アジア人初のアンバサダー。世界No.1バイク用チェー
ンブランドD.I.Dチェーンアンバサダー。クレー射撃の競技者であり、趣味は大の世話と長風呂

オフィシャルブログ▶ちばる☆日和2 <http://ameblo.jp/chiparu125> Instagram▶@chiparu125 Facebook▶chiparu125

祝! 東京2020 オリンピック開幕!

すったもんだの東京2020オリンピックですが、マイナー競技大好きのわたくし
が初めてのアーチェリーに挑戦! 当たるかな?!



初体験の私に専属の先生が基本から優しく丁寧に教えてくれます。そ
りや最初から当たるはずもなく、矢は好き勝手に飛んでいき、先生が
当たるように所作の修正をしてくれます



身体一つで来て、装備一式借りて、付きっきりで指導までしていただき、
これで朝から夕方まで大自然のコースも回り放題で3,500円とは安すぎ
る! 当たるようになったらコースを周ろう



アーチェリーって弓は
大きく分けて3種類あり
今回使った弓は初心者
のレンタルに多いペア
ボウってタイプ。これ
はオリンピックでは使
えません。本格的なの
が楽しくなってきたぞ!

自然の中で矢を放つって
思いっきり気持ちいい!



広大な自然のコースが、自然の恵みを感じながら、自然の中で矢を放つって思いっきり気持ちいい!

エロいホテルの前の 恐怖のジェットコースター



今回も地元の方に坂のお話を聞かせていただきました。「昔はこの辺り
は山でね、夕方散歩をしていたらその林から突然大きな赤い光の
UFOが東の空に飛んで行ってそりゃもう驚いた」と、もはや道場など
どうでもいい!



これはヤバいタイプの坂です。一気に急降下にタイプする
感じ。次に右に急激なカーブとなり、カーブの内側は勾配
40%を超え、恐怖以外のなにが。住宅の壁には激突用の
鉄柱が立っておりさざざざを感じます

自然の中でただ黙々と一人で矢を
放つ快感、良いものを見つけてし
まいます。
そして、前回の坂船介のお知ら
せて「横浜の激坂以上の急勾配の
坂があったら教えて下さい」とラ
イフ配信で話してみたら、早速!
「ちばるさん、はじめました横浜
市民です。教えてくれた坂には
勝てませんが、戸塚警察署近く
のラブホの入り口に凄いや角度の
坂があるので調査いたします。良
かったら坂もご馳走するで一緒
にホテルに入りませんか(笑)」
(原文まま)貴重な情報をありが
とございます。



制約もめんどうくない。とりあらず
手取り早く近場で大自然の中で
バシバシと矢を撃ててそうなの、ネッ
トのロケも良いアーチェリー場
を見つけたので行ってみました。
なんだかよく分らないけど、
看板も無く山奥の恐ろしくクラ
シックなアーチェリー場に到着。
ホントに営業してるの?とい
う雰囲気、これはやっちゃまっ
たかなと不安になりました。受付
に入り説明を聞くと、道具も一
式貸してもらえて、指導までし
てもらえ、料金も1時間千円か
らの朝から夕方までやり放題で
3千5百円となんと安い安さ!
クレイ射撃なんか1000撃つた
だけでも1万円はいっちゃうから、
これは良い。コースを周りながら、



エロいホテルの前で何やってん
だか、とホテルを出入りするこ
利用者の車からチラチラ見られ
ておりましたが、勾配31.5%
の激坂です

初めてのアーチェリーと 戸塚区の恐怖の激坂

東京オリンピックも開幕とな
りますね。オリンピックの種目に
アーチェリーというものがあ
り、弓を引ると引つ張つて矢を射
て誰か当てる競技で、元は狩猟や戦
争から発展したスポーツです。私
もですが弓道やアーチェリーの弓
も多岐にわたります。アーチェ
リーってマイナーな競技の割には全
国にアーチェリー場も多く、都
府県にも結構あるのてびっくりし
ます。なんだろう、コロナ禍で身
体もたれと自然を求めています。

イタリアのパッション、スクランプラーか、それともラリー？

ダートプラス・キャバレロは 予想以上にファンタスティックだ！



オフロード走破とファッションなスタイルを併せ持つまさにイタリアの伊達男“ファンティックキャバレロ”。そんな彼の地を欧州ジャーナリスト“クラウス・ネネヴィッツ”がダートインプレッションも含め、その魅力を伝えてくれた

TEXT/クラウス・ネネヴィッツ 写真提供/モータリスト合同会社 <https://caballero.jp>

キャバレロ セレクトスタイル

2021年現在、キャバレロ500は5種類の異なるスタイルのスクランプラー、アビバ1サリ1、テラックス、フラットトラック、そしてラリーの入手が可能である。初めの3種類の違いは装備や色、グラフィックデザイン、フラットトラックはリアタイヤが19インチ（他のモデルは17インチ）、そしてラリーは200mmのロングストロークを誇るアシスタブル・サス（ハンション）（スクランプラーは150mm）にアルミワームのリアスイングアームが装備されているのが特徴だ。

ユーロ5に適合させた新しいエンジンは、ほとんど振動を感じることのないほどよく調教され、低回転からクラッチをつなぎ、スロットルに力を込めていくと、予想だしなかったほどに豊かなトルクがふれ出し、すばらしいパワートン・サワンドがライダーから聞こえてくるのだ。ワオ！

ダートの走破性 ラリーorスクランプラー

トスカーナに数多く残された砂利道であっても、キャバレロなら全く問題にせずに走破していくことが可能だ。だが、地形がさらに難しく、サス（ハンション）にかかる負荷がより激しくなってきたら、ラリーを選ぶのがベストだろう。フロントフォークはスプリットタイプだが、右側に用意されたスプリングが車体を支えながら、左側に用意されたタンパーがマシンを気持ちよくしなやかに走らせていく。リアショックにはリザーバ

ファンタスティックな エンジン特性

このエンジンからふれ出るトルクはあらゆるシームで活躍し、軽量の150kgのマシンを気持ちよく引つ張り、細く曲がりくねった北部トスカナの田舎道を生き生きと走らせる。低回転域からのトルクはマシンの気持よさを特徴づける役割をこなし、パワーレバリーはスロットルに反応して地よくライダーを刺激して、適度にエンジンの乗ったクラウンスがエンジンブレーキを過大にさせず、だから安心して

スロットルをオンオフさせ、マシンのコントロールがさらに楽しくなっていく印象だ。スロットルレスポンスは非の打ちどころがなく、そのパワー、カーブは知覚可能な落ち込みは一切ない。スロットルを大きく開け放せば、マフラーが素晴らしい音を奏で、共有するシンフォニーのような快感が襲ってくるのである。

ファンティック、キャバレロ500ならではの多様な演出は、しばしばイタリア語の、パシオ1ネ、情熱、という言葉を思い起こさせる。オートバイに乗ることはこの情熱は溢れることなく語り継がれ、そして進みます我々をとりこにさせるのだ！



右側に新設されたのはABSキャンセルスイッチ。走行中の操作もしやすい形状に改められている
新しいハンドルバースイッチ。ヘッドライト切り替えとウィンカーが集中タイプになり、使い勝手が改善されている
EURO-5に合わせて大型化されたキャタイクンバーター。位置は変わらないがはつきりわかるほどに大型化された



新設されたスブラッシュガード。これまでオプションとしての用意があったが、全車共通品を採用。背中への泥跳ねが大幅に改善されている
強化されたサイドスタンドマウントブラケット。曲がりやすいサイドスタンドは欧州車に共通する弱点だが、ファンティックはここを強化してアップデートした



会場にはすべてのキャバレロ500シリーズを用意。日本では限定数の販売だったアビバ1サリも現地ではまた手に入る



イベントレースで使われたフラットトラック。素晴らしいハンドリングでダート性能の高さを発揮した



FANTIC Caballero Scrambler Deluxe ¥1,240,000(税込)

※ Scrambler, Flat Trackにはそれぞれ125/250/500ccモデルがラインナップ。Scrambler Deluxeは125/500cc、500Rallyは500ccのみのキャバレロプレミアムモデルとなる。

問：モータリスト合同会社 TEL.03-3731-2388 <https://caballero.jp>

その500ccと125cc全車を思う存分に走らせる

イタリアのファンティックが生み出す
キャバレロ・シリーズは、モーターサイクルが持つ
ロマンティックな部分を最も色濃く残した
5タイプのモデルを揃える

Text: Klaus Nennwitz Translation: Kiyomi Kojima MOTORISTS, LLC
Photos: FANTIC Motor SPA



Scrambler 500

■イタリアの中北部によく見られる
農村地帯を駆け抜けるスクランブラー
500。いちばんスタンダードなキャ
バレロといえるだろうが、その走
りのレンジの広さは他に類を見ない。



FANTIC CABALLERO Series

Scrambler 500 Deluxe

■昨秋から販売が始まったスクラン
ブラー・デラックスは、そのクラ
シックなデザインがよく似合う。ス
クランブラー・ベースに専用カラーが
変じ、アップグレードしたパーツで
おなじみの鉄骨が魅力のモデルだ。

Flat Track 500

■今回のプレス向けイベントでは、
実際にフラットダートのオーバルコ
ースを走らせるイベントも用意され
た。そのコースを土煙を上げて駆け
るのはフラットトラック500である。



Rally 500

■シリーズ中、唯一異なる前後サス
ベンションを持つのがラリー500で
ある。ストロークが長い足を生かし
た乗り味はアドベンチャーバイクだ
も通じる、旅心をかき立てる走りだ。



■クラウス・ネネヴィッツ (Klaus Nenevitz)：アフリリアやデルビなど2輪メーカーに在籍し、エンジニアとして活躍した後にはラリーリストとして活動。現在はフリージャーナリストに变身し、多くのメーカーの試乗会に参加するなどにより、世界各地に独自の視点でのテストレポートを発信している。

スクランプラーという乗り物

スクランプラー。それは、モーターサイクルの中でも特徴的な型式のひとつといえよう。極めてシンプルに造り込まれ、軽量で、比較的にコシのあるサスペンションを備え、荒れた道をもこなせるよう、オフロード風味のタイヤを備えたモデルだ。西部開拓時代からの流れをくむかのように、こうしたスクランプラーは文字どおり馬にとって代わる乗り物として活躍し、第2次世界大戦でも陸軍の先頭を切って泥道を突き進んだのである。

スクランプラーは戦後、特に1970年代あたりまでに、映画「大脱走」でスティープ・マックイーンが鉄条網を飛び越えるシーンを演じてその走りを印象的なものとし、ブルース・ブラウンによるドキュメンタリー「On Any Sunday」で遊べるオートバイとしてのスタイルを確立させたといえる。

今日では、スクランプラーは最もロマンティックな形のモーターサイクルとして、最高速度こそ決して重要ではないが、遊びの世界を代表するものとして、あるいはエンジニアリングの原点として、さらには開拓時代あこがれのアメリカの原点として、今の世を生き続けているのである。

先述の映画「On any Sunday」では、監督が温かい目で、いかにしてライダーたちがその道具やマシンを手入れしていくのかを表現している。自分のマシンのトランスミッションギアを点検するプロフェッショナルライダーの姿は、あかかもマシンを愛馬のようにまで回っているかのような。彼がヘルメットにバイザーを取り付ける様子は、仕事をやる姿であると同時に、愛用の用品もお手入れしているかのようにも見える。

砂漠のレースシーンでは、すべての挑戦者たちが横一列に並ぶ姿が映し出されるが、これはまた無限に続く砂漠に向かうモーターサイクルによる行進のようでもある。レースのスタートで、砂漠にライダーたちが突入していく姿は、西部開拓時

代に未開の土地を求めて人々が殺到したことで知られるあの伝説をも想起させるものだ。

映画の終盤、多くのライダーが戯れ、また楽しむのためにビーチを走る様子が映されているが、これはまさにモーターサイクルとの美しい遊び心の調和といってもいいだろう。ロマンチックな男たちの夢が形になり、無邪気な子どものような思いがよみがえるときなのだ。

イタリアのファンティックによるスクランプラーの復活

ファンティックは、そのキャバレロシリーズとともに、モーターサイクルがまさに地球上のどんな遊びよりも「楽しい友達であり、その本質がラップタイムやトップスピードとは無縁のところにある」ということを追求しているメーカーだ。

現在のキャバレロシリーズは、2017年晩秋に開催された、EICMA、ミラノ国際モーターサイクルショーに展示されて、デビューを飾った。125/250/500ccと3種の排気量を持つエンジンを擁するキャバレロシリーズは、そのコンポーネツツの大半を共用しながら、それぞれに他では見られないほどの個性を与えることに成功している。

125ccにはファンティックの傘下となったイタリア・ミナレリ社社のエンジンを採用し、250/500(450)ccのエンジンは、ファンティックが設計し、中国の単気筒メーカーとして20年以上も世界中の完成車メーカーにパワーユニットの供給を続けてきた「Zongshen」によって製造されている。

キャバレロシリーズはファンティックの本社があるイタリア北東部のトブレージョで生産(組み立て)されている。2017年のデビュー以来、今日までに製造された約1万1000台のキャバレロシリーズの排気量は、125ccが30%、500ccは64%を占め、250ccはわずか6%以下でしかない(事実上、日本市場専用機種といつてよからう)。

マリアーノ・ロマーネが2014年にファンティックに入社したとき、今日に至るファンティックのサクセスロードが始まったと考えるのが正しいといえよう。初年度わずか80万ユーロにすぎなかった売り上げは、2020年には4700万ユーロに成長し、今や従業員は120名を数えている。

ファンティック社の歴史は1968年にミラノ北部、コモとベルガモの中間にあるバルザーゴでの創業に始まる。信頼性にあふれた技術力と個性的なデザインが高く評価され、ファンティックの販売は波に乗る。加えて1970~80年代、オフロードスタイルのモベッドで活躍、さらにエンデューロやトライアルで世界タイトルを勝ち取り、押しも押されぬブランドへと駆け上ったのだ。1980年代中盤以降、日本メーカーが齊に台頭してくるまでは。

1995年に放漫経営がたたって倒産、その後コーヒーマシーンで財を成した実業家のフェデリコ・フレグナンがさらにブランドを弱らせていった。2003年には150ccエンデューロモデルを復活させた

が注目を引くこともなく、すでに手遅れだった。

2014年、イタリアの投資家集団である「VeNeWork」がファンティックの窮状を見かねてこれを買取り、アフリリアの開発担当重役だったマリオ・ロマーネをCEOに据えて再生を開始した。

まずは時代を先取りした電動アシスト自転車デビューさせ、次いでフランスの「MASH」ブランドのモーターサイクルのイタリアにおける販売権を獲得した。だがMASHはあくまでも中国製であり、ファンティックブランドとしての本当のオリジナルはキャバレロといえるだろう。これは新世代のファンティックを代表するモデルとして、華々しくデビューし、高く評価されてきたのである。

まず走らせたのはキャバレロ500シリーズだ

こうした歴史とラインアップを正しく理解させるべく、ファンティックは、イタリア、トスカナ北部のエンデューロファームと別称されるオフロードの聖地に欧州各国からジャーナリストを招き、試乗会を行った。ここで初めて新しい環境規制ユーロ5に適合するモデルを発表したのである。

5つの異なるモデル、すなわちスクランプラー、アニバーサリー、デラックス、フラットトラックおよびラリーのそれぞれは、そのモデル固有のボディカラーで明確に区別されるとともに、個性を明確にする装備で差別化が行われている。とりわけフラットトラックに用意された専用のリア19インチタイヤや、ラリーだけが持つ200mmのものより長い調整機構付きサスペンションとアルミ製スイングアームはモデルの特性を際立たせている。

ファンティックは、ユーロ5環境規制適合のための改良に合わせ、細かなアップデートを非常に多岐にわたって用意した。エグゾーストマニホールの改良に合わせ、細かなアップデートを非常に多岐にわたって用意した。エグゾーストマニホールの改良に合わせ、細かなアップデートを非常に多岐にわたって用意した。エグゾーストマニホールの改良に合わせ、細かなアップデートを非常に多岐にわたって用意した。

ユーロ5に適合させながらも、ファンティックではエンジン出力をむしろ向上させ、最高出力は41hp/7500rpmになった。もとより強力な、450ccの水冷単気筒SOHCエンジンとしては出色の43 N・m (4.4kg・m)の固太いトルクも魅力である。

異色だった試乗メニュー

今回のイベントでは、単なる試乗会以上の楽しさを提供する試みとして、ジャーナリストをそれぞれ2名1組にチーム分けし、モデル別に用意され



基本は共通ながら異なる方向性とした作品が揃う

- メディア向け試乗会は、イタリア中北部にある山岳地で開催。風光明媚な丘陵地帯を走るワインディングロードや、どこまでも続くようなフラットダート、エンデューロ選手権でも使われる厳しいラフロードが味わえる。まさにスクランプラーのためのフィールドだ。
- 会場には、1969年モデルの初代キャバレロも展示された。現代キャバレロが、起源となる作品の優れたデザインや雰囲気を見事に受け継いでいることがよくわかるショットだ。
- スクランプラーはキャバレロのスタンダードモデルだ。タンクカバーに象徴されるクラシックなデザインは、スクランプラーというスタイルが評価されメーカーで散見されるようになった今、ますます脚色を増している。
- ラリー-500には新色のサンドベージュが与

えられた。グリーン同様、マットカラーながら、ブラウンのアクセサリとブラックアウトされたトリムが、デラックス同様にもったく違うマシンのような趣を生み出している。

- 125ccにもデラックスが追加された。シックなカラーの外装に合わせてブラック仕上げとしたトリム(スクランプラーはシルバー)を装備し、グリップラバーやハンドルバーパッド、シートなどをブラウンの専用品とする。
- アニバーサリーは日本では販売が終了している限定車。キャバレロと命名したモデルの生産50周年を記念して用意された作品である。
- グリーンカラーのラリー-500で軽くリアをスライドさせて走る。豊かなストロークと軽質なパネ下などの利点を生かして、こうしたオフロードでの動きを楽しめるように仕上げていて。



GOOGLE
(モーターマガジン社)
21-8月号

第2回：FANTIC XEF 125

コロナ禍によって売り上げ好調なのが、高級なアウトドアグッズやアウトドア系の原付二種なんだそう。そして今回ご紹介するのは、まるでエンデューロレーサーのような FANTIC XEF 125。大袈裢で本格的なモデルですが、これもなんと今大注目の原付二種なのです！



Profile

加藤ノブキ

広島県広島。東京芸術大学デザイン科6期。グラフィックデザイナー。イラストレーター。デザイン会社「ライノ」でグラフィックデザイナー。その後「PANI」・「Lambetta」のデザイナーとなる。

HP
http://kato-nobuki.com/

Instagram
nobukikato

加藤ノブキの HAVE A BIKE DAY.

ハヴァバイクデー

◆ 第9回 ◆

ラフダイヤモンド

今回の「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。



このイラストは、加藤ノブキさんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。

今回の「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。

今回の「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。

今回の「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。



Profile

加藤ノブキ

広島県広島。東京芸術大学デザイン科6期。グラフィックデザイナー。イラストレーター。デザイン会社「ライノ」でグラフィックデザイナー。その後「PANI」・「Lambetta」のデザイナーとなる。

HP
http://kato-nobuki.com/

Instagram
nobukikato

加藤ノブキの HAVE A BIKE DAY.

ハヴァバイクデー

◆ 第8回 ◆

イラストにできること

「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。

今回の「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。

今回の「HAVE A BIKE DAY」は、加藤ノブキさんの「ラフダイヤモンド」のイラストです。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。このイラストは、加藤さんの「HAVE A BIKE DAY」シリーズの中でも、非常に人気のある一枚です。



PANI CABALLEROのイラスト(2015年)



オンラインショップ情報
OOSHIMA & SUGIUCHIにてオンラインショップを展開中。さまざまな商品を取り扱い、バイクアートのある暮らしを提案しています。



バイク人
(実業の日本社)
21-7-8月号

REPORT R Zutto Ridexクスタニ コーヒーブレイク ミーティング開催

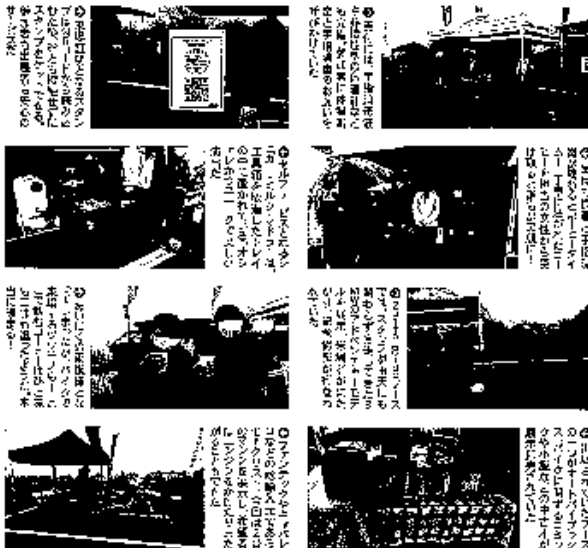


クスタニの美味しいコーヒーで休憩を!

ヨコスカ市にあるヨコスカ峠。ここから南に下ると、美しい谷間に広がるクスタニ。この美しい風景を満喫しながら、美味しいコーヒーを飲む。Zutto Rideのイベントでは、このようなイベントを開催しています。

Zutto Ride × クスタニ
CBM開催予定日

5F 22日(一)	河の水ノストハウス	松本県
5F 23日(二)	道の駅高瀬	重信
5F 14日(二)	レイノホ 池田町	厚岸県
6F 25日(一)	道の駅松川ハイウェイ	松川市
7F 8日(土)	道の駅松尾里	松尾市
7F 31日(日)	道の駅高瀬	重信
10月7日(日)	道の駅高瀬	重信
10月15日(日)	入道	新田
10月17日(日)	リネア	松本
10月23日(土)	道の駅高瀬	重信
10月30日(土)	道の駅高瀬	重信



イベントの様子や、参加者の声、そしてクスタニの美しい風景を詳しく紹介します。



FANTIC CABALLERO 500 Rally

このバイクは、軽量な車体とオフロード性能を兼ね備えています。また、最新のテクノロジーが搭載されており、快適な乗り心地を実現しています。

軽量な車体でオフロードでも楽しい
舗装路のワインディングでも楽しい

このバイクは、軽量な車体とオフロード性能を兼ね備えています。また、最新のテクノロジーが搭載されており、快適な乗り心地を実現しています。舗装路のワインディングでも、オフロードでも楽しむことができます。



ワインディングロードを走る様子。安定した走りを確認できます。



各部品の詳細な写真。性能とデザインを確認できます。

タンデムスタイル
(クレタパブリッシング)
21-7月号

タンデムスタイルのバイクは、二人で楽しむことができます。また、最新のテクノロジーが搭載されており、快適な乗り心地を実現しています。クレタパブリッシングのバイクは、人気があります。

タンデムスタイルのバイクは、二人で楽しむことができます。また、最新のテクノロジーが搭載されており、快適な乗り心地を実現しています。クレタパブリッシングのバイクは、人気があります。

U4
(クレタパブリッシング)
21-8月号

ダート走行を満喫できる2台！



ENDURO125
125cc 4バルブ 4ストローク 1250cc 147km/h 120kg 55mm 21mm 100mm
200kg 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm
180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm



①アクセルスロワーが2.16mmのステンレスローラー付で、シフトチェンジがスムーズで、チェーンを保護する効果があります。

②燃料タンクの上部には、燃料を保護するためのキャップが付いています。

③排気管の先端には、排気音を抑制するための消音器が付いています。

④燃料タンクの下部には、燃料を保護するためのキャップが付いています。

お問い合わせ先 02-373-2388 info@casalibro.jp

FANTIC
**ENDURO125
& XX125**

ド、ファンティッ
ラスオフロードバ
トロークの器技
ロークの公道走
ルをモトクロス
てきた



NeU4!

XX125
125cc 4バルブ 4ストローク 1250cc 147km/h 120kg 55mm 21mm 100mm
200kg 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm
180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm 180mm



①燃料タンクの下部には、燃料を保護するためのキャップが付いています。

②排気管の先端には、排気音を抑制するための消音器が付いています。

③燃料タンクの上部には、燃料を保護するためのキャップが付いています。



FANTIC ENDURO125 & XX125



エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。



エンジンカバーは、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。



エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。

Position & Foothold



エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。

エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。

エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。

エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。

Position & Foothold



エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。

エンジンをカバーした状態で、自分だけが遠征には必要な最低限の装備を身につけてバイクに乗る。これがFANTICのコンセプトだ。



XX125



**125CCだからと
あなどれない！**



ENDURO125

